



Infectious Diseases Weekly Report City of Kita

感染症発生動向調査／東京都北区感染症週報

2013年5週（平成25年1月28日～平成25年2月3日）

東京都北区感染症情報センター 電話 03（3919）3102

東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。

東京都北区感染症週報では、感染症発生動向事業に基づき最新の感染症情報を公開をしています。

東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j/>

○厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr-dl.html>

I 感染症別報告数（週別推移）

1.全数把握対象感染症

対象疾患	2012年			2013年						
	51週	52週	累計	1週	2週	3週	4週	5週	累計	
(二類感染症) 結核	2	3	122	0	1	2	2	3	8	
(三類感染症)	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	
	細菌性赤痢	0	0	4	0	0	0	0	0	
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	5	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
(四類感染症)	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	E型肝炎	0	0	1	0	0	0	0	0	
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
	レジオネラ症	0	0	1	0	0	0	0	0	
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
(五類感染症) 全数報告	アメーバ赤痢	0	0	3	0	0	0	0	0	
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	後天性免疫不全症候群	0	0	3	0	0	0	0	0	
	ジルアアジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	1	0	0	0	0	0	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	風しん	0	0	9	0	1	0	3	0	4
	麻しん	0	0	1	0	0	0	0	0	0

2.定点把握対象感染症（月報告）（五類感染症）

対象疾患	定点医療機関数	2012年							2013年
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数
性器クラミジア感染症	1	0	1	1	2	1	0	0	0
性器ヘルペスウイルス感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
尖圭コンジローマ	1	0	1	0	3	2	3	2	0
淋病感染症	1	0	0	0	1	0	0	0	0
トリコモナス症(注)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒様疾患(注)	1	0	0	0	0	0	0	0	0

(注3) トリコモナス症、梅毒様疾患は東京都が独自に指定する疾患。

3. 定点把握対象感染症(週報告) (五類感染症)

対象疾患	定点医療機関数	2013年							
		2週		3週		4週		5週	
		報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点
RSウイルス感染症	7	0	0.00	0	0.00	1	0.14	0	0.00
咽頭結膜熱	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	2	0.29	3	0.43	3	0.43	5	0.71
感染性胃腸炎	7	51	7.29	38	5.43	39	5.57	39	5.57
水痘	7	12	1.71	3	0.43	3	0.43	2	0.29
手足口病	7	5	0.71	1	0.14	0	0.00	0	0.00
伝染性紅斑	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	7	5	0.71	2	0.29	8	1.14	6	0.86
百日咳	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎	7	3	0.43	5	0.71	2	0.29	3	0.43
川崎病(注1)	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
不明発しん症(注1)	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
インフルエンザ(注2)	11	157	14.27	215	19.55	322	29.27	297	27.00
急性出血性結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎	1	0	0.00	2	2.00	2	2.00	0	0.00

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

II 概況

■全数報告感染症

結核の届出は第5週3件。その他感染症の発生の届出はなし。

■インフルエンザ

平成25年1月31日、東京都福祉保健局は、都内のインフルエンザ定点医療機関からの第4週の患者報告数が流行警報基準である定点あたり30.0人を超え、大きな流行となっている旨の報道発表をしました。

北区では04週には29.27から第05週27.00と多少減少しましたが、警報基準値(30.00)に近い数値で感染が継続しています。学級閉鎖等の集団感染の報告も多く、家庭、学校及び施設等での咳エチケット等の感染予防対策を万全を期してください。

●東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2013/01/20nlva00.htm>

●インフルエンザの予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062015.htm>

■感染性胃腸炎

北区では、第50週27.00をピークに減少し、第03週5.43、第04週5.57そして第05週5.57と終息水準値(12.00)を下回りましたが、その減少傾向が弱まっています。例年の傾向では今後5.00前後の数値で感染が継続していくものと思われます。引き続き、家庭、学校及び施設等並びに食品を扱う方は特に手洗い等の感染予防対策を万全を期してください。

●感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■その他の定点感染症

水痘、手足口病、突発性発しん及び流行性耳下腺炎等の発生がみとめられますが、特異な発生とはなっていません。

III 医療機関からのコメント

■(王子地区) インフルエンザのピークは終わった感があります。

■(赤羽地区) インフルエンザA型55名、B型1名。

■(滝野川地区) すべてインフルエンザA型です(48名)。今年は成人例に発症が多いようです。

IV 注意情報・お知らせ

■インフルエンザ

平成25年1月31日、東京都福祉保健局は、都内のインフルエンザ定点医療機関からの第4週の患者報告数が流行警報基準である定点あたり30.0人を超え、大きな流行となっている旨の報道発表をしました。

家庭、学校及び施設等での咳エチケットの徹底等の感染予防対策を万全を期してください。

●東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2013/01/20nlva00.htm>

●インフルエンザの予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062015.htm>

■都内における風しんの流行について

2012年1月より近畿地方にて患者の報告数が増加していました。都内でも7月より患者数が急増しており、2013年になっても流行は持続しています。

東京都では、これまでにない規模の風しん流行が継続している旨の注意喚起を行いました。妊婦への感染には特に注意してください。

●東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2013/02/20n27500.htm>

●風しんの発生状況(東京都2013年) <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>

■ 感染性胃腸炎

例年、11月から2月にかけての時期は、保育園や幼稚園、高齢者施設などを中心にノロウイルス等を原因とする感染性胃腸炎の集団感染が多数報告されています。これからの時期においては、各施設において、手洗いの徹底や施設の衛生的管理など、感染症の予防のため特に注意し対策を行う必要があります。

- 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002pa7y.html>
- 東京都 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2012/11/20mb1700.htm>

■ 麻しん

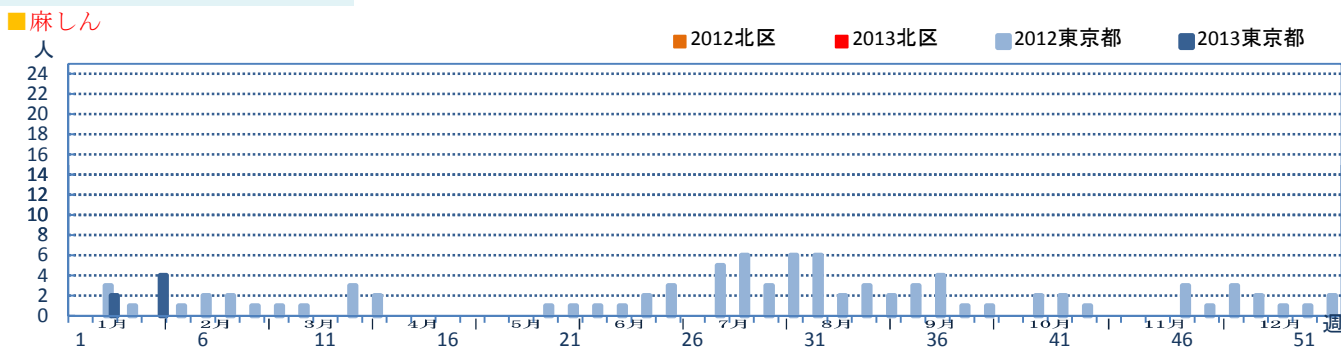
国では、麻しんに関する特定感染症予防指針を改正し、平成27年度までに麻しんの排除を達成する目標を掲げ、2013年4月1日より適用されることとなりました。

麻しんの定期予防接種の対象者で未接種の方は、できるだけ早くワクチン接種を受けましょう。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

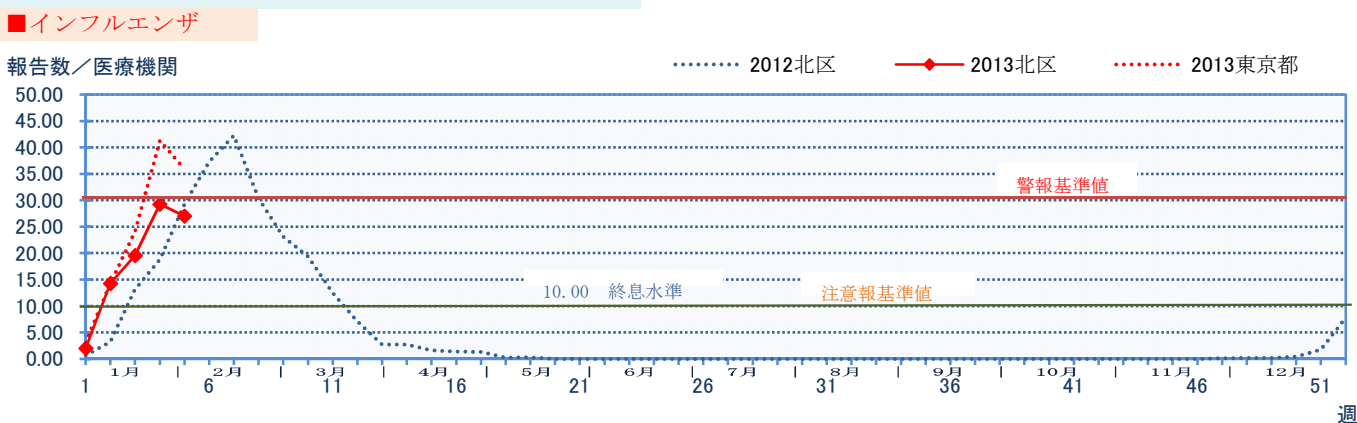
- 予防接種一覧 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/167/016751.htm>
- 麻しんに関する特定感染症予防指針 <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002jsve-att/2r9852000002jsyl.pdf>

V 感染症別グラフ

1. 全数把握対象感染症



2. 定点把握対象感染症(週報告) 内科定点



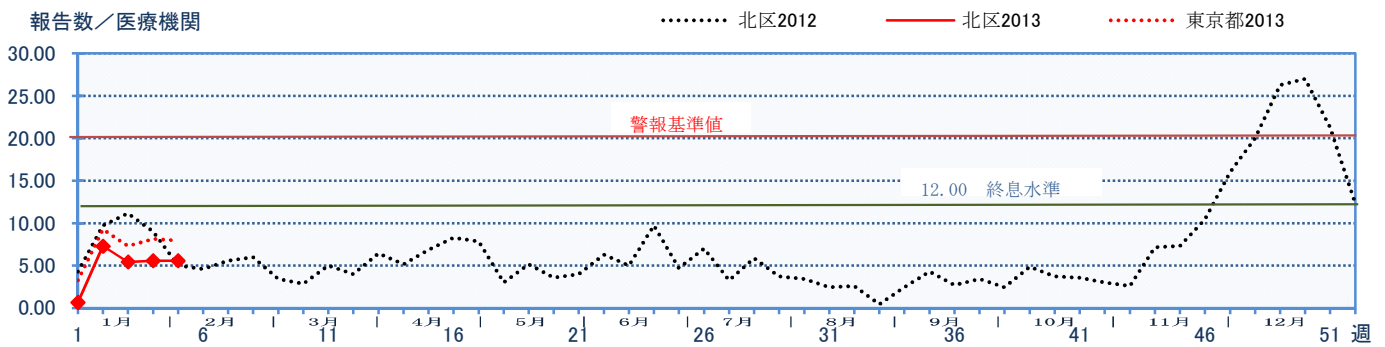
3. 定点把握対象感染症(週報告) 小児科定点



■ A群溶血性レンサ球菌



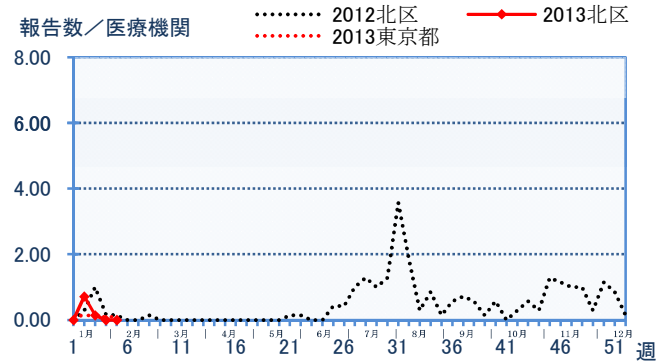
■ 感染症胃腸炎



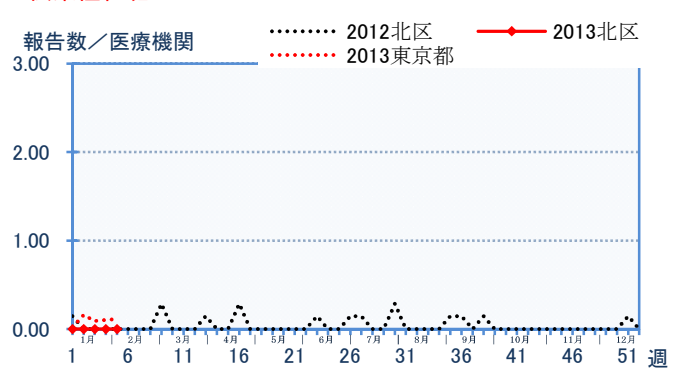
■ 水痘



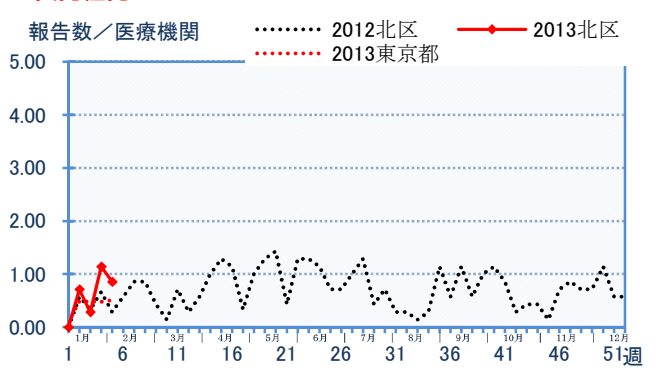
■ 手足口病



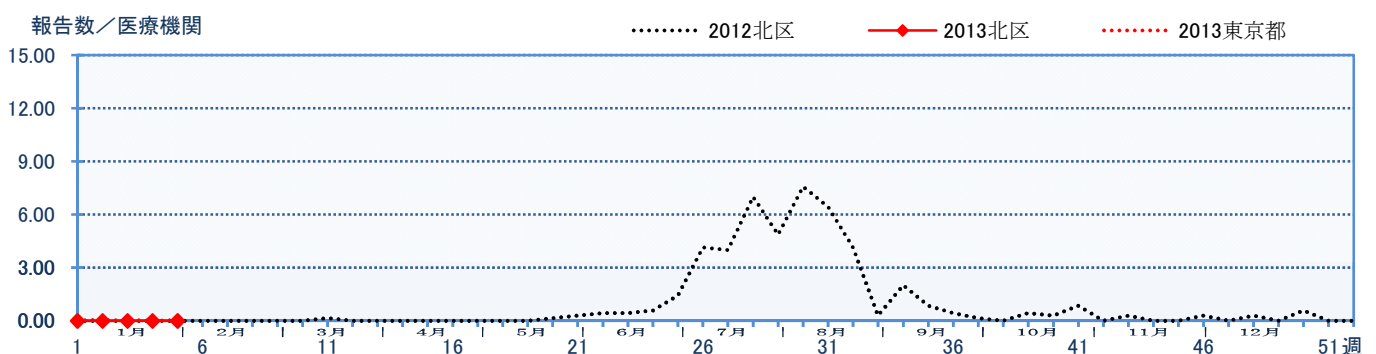
■ 伝染性紅斑



■ 突発性発しん



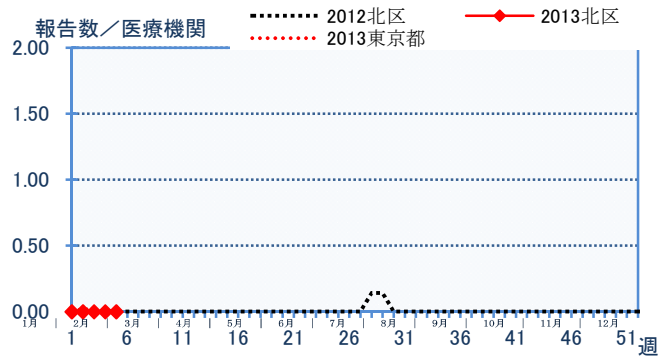
■ ヘルパンギーナ



■流行性耳下腺炎

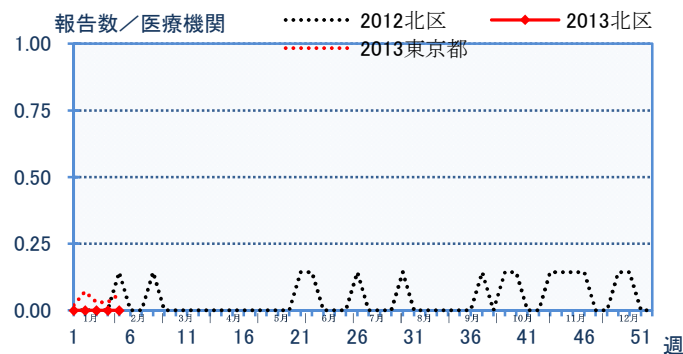


■百日咳

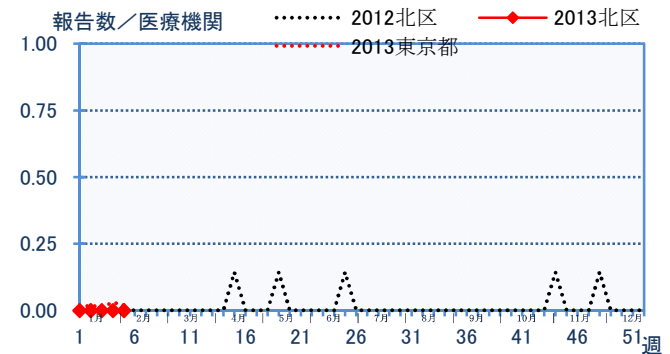


4.東京都独自指定疾患

■不明発しん症

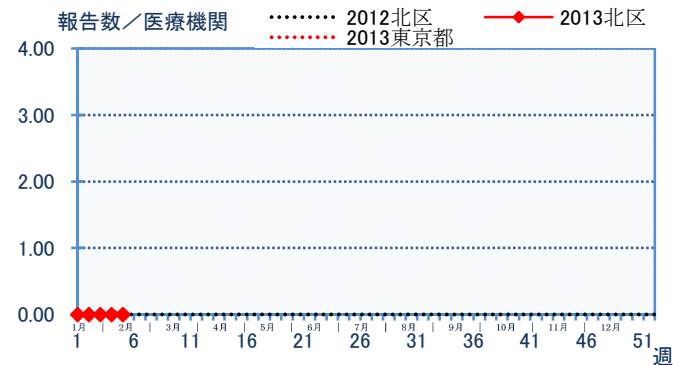


■川崎病

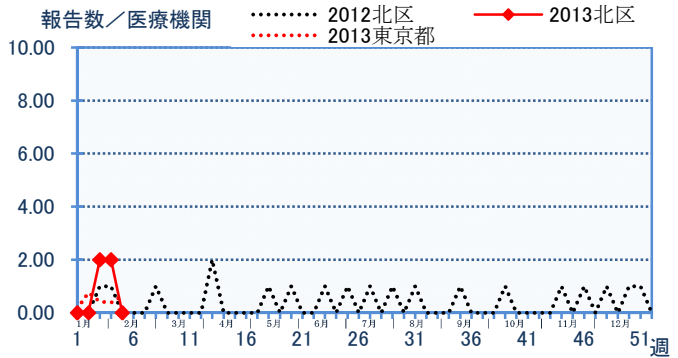


5.定点把握対象感染症(週別) 眼科定点

■急性出血性結膜炎



■流行性角結膜炎



6.定点把握対象感染症(月報告) 性感染症

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である以下の性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までの結果を掲載しています。

※2013年2月分は2013年第9週にて公開予定です。

■性感染症

